

年の十月、福生町にありまうしは六百七十四名の会員をもつて創立いたしましたわけにございす。その後の四月より資格を得た指導員等から多くのかげが関係上事業をやりあらうが、かつたのべにございす。が、昨年の十月から一般商工会に対する指導育成事業をやりあらうわけにございす。三十七年度には都から補助が五十万三千六百円、貸し金にございす。町から五十万の補助を受け、功のわけにございす。会員の会費としは、まうしは三十六万円を予定し、功のわけにございす。が、その後金融新機等が非常に多くござい、関係上会員から特に有金持ちがあり、したし、又予定よりも会員が上り、まうしは年度末には五十万近くの会費が集まるといふ現在の情況にございす。職員としは、まうしは指導員一名、補助員一名とござい、あとのべにございす。が、去年の十月から新たに二名入ら、まうしは二月まうしは加盟し、功のまうしは二月に依り退職し、まうしは一名、そのまうしは現在二名とござい、あとのわけにございす。事業の内容にございす。が、経営相談と

か店舗改装相談、金融相談とか、税務相談とか、こう、うような指導の仕事をして
つておられるんですが、ますますがほとんど毎日数名の商工会相談があるようでありま
す。特に金融相談をいらいおられるわけなんですが、ますます現在まで約十ヵ月間に
都の設備事業資金金があるとかある、は、国民金融公庫があるとか、こう、うもの
を求めまして大体三千万円の融資が行なわれるようなわけなんですが、ますます
その他の仕事といえし、ますます珠算検定等もこれは従来は青梅商工会議所の
中に入っていたんですが、独立したしまして昨年の十月に第一回目の珠算
検定を福生町商工会が行なったのんですが、ますます五百十四名の受検者が
ございます。先月第二回を行なったのんですが、ますますがけれども四百五十名
と、この受検がありまして都下十七商工会の中、福生が二回ともトップであつ
たという成績を納め、おられるような状態なんですが、ますます。徐々に仕事
も軌道にのってまいられるような状態になっています。今年度の当初予算を
みますと八十万という二に、なるようなわけになります。昨年は、商工会と

レオレイン五十五万の補助を戴き、従来からあります商店会協同組合が三十万合計八十五万の補助を前年は戴いたのと同じです。逆に当初予算に於いては減額あり、その状況でございます。二、三つ、オレイン金融新設が特に仕様が煩わしい、仕事に於いては煩わしいでございます、但し、オレインの調子、新設をスル参ります。本年一年後にはあります。天々万の融資新設がござぬ、というわけですが、これらの償還事業率は国庫の場合にはスレ、おかげでございます、ます、けれども天々万の融資新設をいたします。と毎月、取組額が大体三百万から四百万の償還事務をスレ、おかげでございます。とあと、二年後あたりにはあります。という数字が、使はスレ、おかげでございます。あります。従って、オレイン人件費といふ、オレインは当然、二名の人を増員しなければならぬ、という二つに、なりわけ、あります。特にこの国庫でございます、ます、が非常に零細な方が多い、わけでございます。一日五万とか、二十万、三十万位の額が、多いの、オレイン、^ハ教が非常に多いの、であります。これらの新設を、いたすと



い、オレインの、手続も全部、つたり償還に、いたし、オレインも期日に間にあ、^ハない場合に電話する、と言、オレインも電話も、ない、という事業所が非常に多く、仕事かます、ます。スレ、人、という現状でございます。特に本年度に於いて、オレインは都の補助が、決、オレイン六十万、三十万、ばかりの補助が、決定、オレイン、おかげ、でございます。会費の、スレ、ます、が、おかげ、会費を、たくさん、という、ことを、会費を、スレ、ます、という、ことを、併、スレ、ます、オレイン、おかげ、も、百、万、位の、会費は、是非、上げ、い、ます、という、ふう、に、予定を、スレ、おかげ、でございます。従って、オレインの、補助を、なん、と、百、五十、万、位、い、ます、是非、お願、い、総計、三百、万、位の、予算に、お、い、ます、だけの、商、工、事業を、スレ、参、り、に、い、ます、という、ふう、に、予定を、お、い、ます。先、般、も、この、旨を、お願、い、スレ、おかげ、です、が、調停額を、お、い、ます、と、今、万、という、非常に、少、い、額に、お、い、ます、おかげ、でございます、が、今、十、万、とい、オレインも従来の、商、協の、三十、万、を、引、けば、五十、万、という、数字に、なり、わけ、でございます、オレインと、い、い、三、つ、い、三、と、い、事業が、スレ、い、け、な、い、という、のが、現状、でございます、い、ます。公益

法人にござい、ますから、有利の仕事は全然、おぼ、わけ、ござい、ます、
補助金を所願、す、か、さ、う、こと、あ、と、は、金、費、の、け、れ、金、然、収、入、が、お、い、わけ、
ござい、ます、
今、夜、の、商、工、指、導、に、つ、き、ま、す、い、け、し、の、御、協、力、を、十、分、に、戴、か、さ、い、と
カ、ッ、い、け、な、い、と、い、う、の、が、現、状、バ、ッ、さ、い、ます、
初、年、度、三、十、八、年、度、の、都、の、各
商、工、会、が、お、い、れ、か、れ、市、並、に、所、か、ら、お、い、ろ、い、の、補、助、金、バ、ッ、さ、い、ます、
が、三、
都、の、連、合、会、が、調、べ、ま、し、た、資、料、が、ご、さ、い、ます、の、バ、ッ、れ、に、カ、ッ、い、ます、と、三
馬、市、が、会、員、一、十、七、名、に、ッ、イ、四、百、六、十、五、万、の、補、助、を、お、い、ろ、い、ま、し
一、三、は、会、員、一、人、に、お、い、ろ、い、四、千、三、百、十、七、円、と、い、う、こ、と、に、な、ろ、い、ろ、い、
バ、ッ、さ、い、ます、
福、生、の、例、を、と、り、ま、す、と、大、百、七、十、四、名、に、お、い、ろ、い、五、千、五、百
貳、百、ろ、い、八、百、十、六、円、と、い、う、教、字、が、お、い、ろ、い、け、れ、お、い、ろ、い、十、七、商、工、会、の
平、均、を、見、ろ、い、も、会、員、一、人、お、い、ろ、い、が、千、七、百、九、十、六、円、と、い、う、補、助、に、な、ろ、い、
お、い、ろ、い、バ、ッ、さ、い、ろ、い、福、生、の、場、合、に、と、い、か、ん、が、ら、平、均、の、半、分、に、お、い、ろ、い、
お、い、と、い、う、よ、う、に、現、状、バ、ッ、さ、い、ます、
特、に、三、十、八、年、度、に、つ、き、ま、す、い、は、各、商

工、会、バ、も、市、並、に、お、い、ろ、い、大、幅、に、増、額、を、所、願、す、る、よ、う、バ、ッ、さ、い、
し、
一、現、在、の、八、十、万、と、い、う、予、算、バ、ッ、さ、い、と、お、い、ろ、い、十、七、商、工、会、の、中、に、福、生、が
最、後、バ、ッ、さ、い、ろ、い、か、と、思、い、ま、す、
三、は、別、と、い、し、ろ、い、も、更、に、現、在、の、現、状、
バ、ッ、さ、い、ろ、い、バ、ッ、さ、い、ろ、い、と、い、う、現、状、バ、ッ、さ、い、ろ、い、の、最、後、一、つ、大、幅、に、補、助
金、の、總、額、を、特、に、所、願、し、上、げ、ろ、い、バ、ッ、さ、い、ます、
一、主、題、大、々、保、即、今、十、七、商、工、会、の、御、指、導、を、お、い、ろ、い、商、工、費、の、中、に、三、十、
二、の、其、に、ッ、イ、け、れ、り、金、額、の、面、に、お、い、ろ、い、も、お、い、ろ、い、の、二、つ、し、た、指、導、す
バ、ッ、さ、い、ろ、い、か、と、い、う、板、借、に、お、い、ろ、い、の、バ、ッ、さ、い、ます、
商、工、会、と、い、う、も、の
を、よ、ほ、じ、層、強、力、に、お、い、ろ、い、か、つ、ら、特、殊、商、工、会、は、窮、地、に、落、ち、入、ろ、い、こ、と、に
お、い、ろ、い、バ、ッ、さ、い、ろ、い、か、つ、ら、今、三、十、八、年、度、の、現、状、を、お、い、ろ、い、上、げ、ろ、い、
バ、ッ、さ、い、ろ、い、の、五、
バ、ッ、さ、い、ろ、い、に、お、い、ろ、い、と、い、う、の、け、五、十、数、万、と、い、う、金、額、か、ら、お、い、ろ、い、も
予、算、が、計、上、さ、れ、ろ、い、ろ、い、た、し、か、に、三、十、八、年、度、に、ッ、イ、は、立、派、に、バ、ッ、さ、い、
ろ、こ、と、に、お、い、ろ、い、す、ろ、い、ろ、い、も、三、十、八、年、度、の、商、業、
店、バ、ッ、さ、い、ろ、い、上、げ、ろ、い、



のセタ等を実施した方が、このかゝるあり、けり、一面の賦課を育成補助に
まわす（さか）このか非常にむづかし、改善になつておると思います。
セタにしろした町が補助金を出せば、あかつ一軒の商店が数万の金をかけなけ
れば立派なセタが出来ないけれども、五紙のセタをしていただいてもいい所
がある、というところ今の現況は、いふやう特殊な商売をのぞいては、立川、
八王子と所帯が、いふ所の現況があり。三ツラブかえ、といふ福生の商店が非常
に苦しい立場にある、という点から私付商工費とかあり、は観光事業賞等の
問題を総合して、より相違する委員会等も特に検討し、修正すべき点
は内部の修正を行つて本当のあり方の予算を組むべきでありと思ひ、才
す。毎年二万五千円阻んである、という言ひ、こゝで改められ改められ
へば、ほんとに商店あり、は工業の育成発展のために、これ予算を組むのが
妥当である、とさうに私は考えます。その本問題について、特に今十七番議員
さん、指摘した通り、いふやう、いふ関係委員会として十分審議し、打ち切り

ちものけ打ノイリウレノ商店の育成発展のために予算を計上するがよ
 しかうと思へますのによりしく願ひ申し上げます。それから私の方から質
 問が、すかマイ八年度予算が二億三千七十万三千六百六十円といふ非常に理事者
 も苦しまれたところの予算でありと、かように存じますか。また二の予算の
 うちの消費的経費と投資的経費がどのように分離され、あつかますか。その
 実の数字的説明を願ひいたします。まず一、非常に苦しまれた予算にあ
 り、庁舎建設費に四千九百五十万が予算に計上され、あつかひ先程所長の説明の
 ように、これに非常は若干あり、うきともいふかも知れないけれども、ということ
 も申しされたが四千九百五十万と、うきと二の庁舎建設費にあつたあつかひの中
 に、実際には起債と、はい、二千三百五十万の起債があり、うきと三千三百万と
 いう金額が、実際に考へる時に、今後ある、はい、庁舎に対する起債と、あつかひ、はい、
 うき収入面のことを考へ、はい、あつかひ、はい、例え、前回の御説明があり、おし、た、よう、な、改
 質の処分と、うき、とも、前回の議会へ申し上げ、あつかひ、た、の、うき、さ、へ、す、す、け、れ、ど、も、現

からの御質問申し上げます。また昭和三十八年度の当初予算の二億三千数百万という趣の福生町のこの財政予算上に変らな、当初予算を組んでおわけでございます。今更には福生町の発展途上かこのような方向に向ふ所か、ということをおめ、一議員の立場からあるいは、町長の立場から特に理事者には別の点は研究が深かつたとは存じますが、私も一言所見を申し上げたい。特に昨今の情勢特に世界の自由貿易というふうな時代を本年度の末期には当然、多くの商品等が流れこる、それと面から日本の国としてみれば、面に対処するために商業生産、工業生産に多大な力を注いであわけでございます。また、特に中小企業のもう一つが福生所にある、これは近代をいかに進歩させるか、そののが今日の商業、工業の経営者各位にあり、これは私もこの点痛感するものがございます。特に理事者はこれに予算の中へも昨年度と変らな、予算編成では、私は是非、これは担当委員

会の立場として今後審議するにも苦勞するわけでございます。先程申し上げましたような自由貿易によりスーパーマーケットの進出等もあり、日本の国自体、大分変わった大きな大企業の中にもスーパーマーケットを考えてあります。それからものか、本所に入りますと、今の商工会等が力添えをしてくれ、行方あります。中小企業の面は今後どうなるか、ということもござります。もう一つ面は、私は中小企業の育成、このことを特に町長は中小企業者の立場を痛感、これが一員もありません、これは、場所も選考公的にもなされた通り、声を大にしていかに、さした一員といふ、それと、もう少し私は予算の組方が生還、このわけが、かといふふうに考えなければ、ござります。この点を理事者として、今回の当初予算にもう少し力強、二つの線を入れ、もう一つ、これ、これ、これが福生町の商工政策に十分な力を注い、これ、他の市町村にくらべ、五川市、あるいは三島、武蔵野、という地域に客足が流れ、あります。もう一つ、点を少なくとも福生町自体の

